# KOGA ELECTRONICS CO.

PRI Terminal Simulator 用ソフトウェア

**PriPathTool** 

取扱説明書

- ●Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- ●IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ●MMX および Pentium は Intel Corporation の登録商標、または商標です。

- 第1版 2020/3 : 初版
- □ 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複 製することを禁止します。
- □ このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からの いかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取替え致します。それ以外の責はご容赦ください。
- □ このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □ このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 目次

動作環境1
第1章 はじめに
インストールの前こ
PriPathTool のアンインストール
第2章 基本的な使い方6
ご使用になる前に6 ・ PRI Terminal Simulator の本体設定を行う6
・ファイアウォールの例外アプリケーションへ追加7
PriPathToolの起動と終了
保1F画面の見力と合部の働さ
第3章 保存ファイル

#### 動作環境

#### ●対応 OS

Microsoft Windows 8/8.1/10 (64bit 版含む)

●ハードウェア環境

1 GHz 以上の 32 ビット(x86) プロセッサ または 64 ビット(x64) プロセッサを搭載し、 CD-ROMドライブ、ネットワークポートを有する IBM PC/AT 互換機

●メモリ

1 GB RAM(32 ビット) または 2 GB RAM(64 ビット)以上推奨

●ハードディスク

500 MB 以上のハードディスク空き容量

●ディスプレイ

SVGA(800×600 ピクセル)以上

※ 必要なメモリ容量、ハードディスク容量はシステム環境によって異なる場合があります。

# 第1章 はじめに

装置 PRI Terminal Simulator をお使い頂き、誠にありがとうございます。 PriPathTool ソフトウェアを使用することで、PRI Terminal Simulator を GUI で操作し、各パスの疎 通試験を行うことができます。

第1章では、PriPathToolのインストール手順について説明します。

インストールの前に

PriPathToolをインストールする前に、1ページの「動作環境」を参照して、 インストールするコンピュータの動作環境をご確認ください。 また、旧バージョンの PriPathTool がインストールされている場合は、4ページの 「アンインストール」を参照して、旧バージョンを削除した後インストールしてください。

PriPathTool のインストール

① インストールプログラムを起動する

起動中のアプリケーションを全て終了してください。 PriPathToolの CD-ROMを CD-ROMドライブに挿入します。 挿入した CD-ROM にある「PriPathToolSetup.msi」プログラムを 起動してください。

※ユーザーアカウント制御により許可を求められた場合、「はい」をクリックします。

⊮ PriPathTool	_		×
PriPathTool セットアップ ウィザードへようこそ		(	
インストーラーは PriPathTool をインストールするために必要な手順を	示します	•	
この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されてい または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の 注意ください。	ます。こ( の侵害とた	の製品の なりますの	全部 )でご
キャンセル 〈戻る(	B)	次へ()	0>

- 2 -

② PriPathToolのセットアップが開始され、インストール先を選択する画面が表示されます。インストール先フォルダとして、「C:¥Program Files¥koga¥PriPathTool」または「C:¥Program Files (x86)¥koga¥ PriPathTool」と表示されます。インストール先を変更する場合は「参照」ボタンを押し、インストール先フォルダを選択してください。

その後「次へ」ボタンを押してください。

🖟 PriPathTool			-		×
インストール フォルダーの♪	麗択				
インストーラーは次のフォルダーへ Pril	PathTool をインス	ールします。			
このフォルダーにインストールするには トールするには、アドレスを入力するか!	[次へ]をクリックし [参照]をクリックし	てください。別の てください。	りフォル	レダーに	んえ
フォルダー( <u>E</u> ):					
C:¥Program Files (x86)¥koga¥PriPa	thTool¥			参照(R)	
			ディ	ノスク領域	ţ(D)
PriPathTool を現在のユーザー用か、ま	たはすべてのユーザ	一用にインストール	いします	<b>‡</b> :	
.●すべてのユーザー(E)					
○このユーザーのみ(M)					
	キャンセル	< 戻る(B)		次へ(	N) >

③ インストールの確認

インストールの確認画面が表示されます。インストールを開始する場合は、 「次へ」ボタンを押してください。

伊 PriPathTool	_	_		×
インストールの確認				
PriPathTool をインストールする準備ができました。				
[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。				
キャンセル く戻る	5(B)	$\langle$	次へ	(N) >

### ④ インストールの完了

インストールが完了したことをお知らせする「インストールが完了しました。」という表示がされます。「閉じる」ボタンを押すとインストールが完了します。

记 PriPathTool		_		$\times$
インストールが完了しました。			(	
PriPathTool は正しくインストールされました。 終了するには、[閉じる]をクリックしてください。				
Windows Update で、NET Framework の重要な〕	更新があるかどうかをも	確認してく	(ださい。	
++>	セル < 戻る(B)		閉じる(	(C)

PriPathTool のアンインストール

- プログラムの終了
   PriPathTool を終了します。
- ② プログラムの削除

「コントロールパネル」→「プログラムと機能」から「PriPathTool」を選択し、 「アンインストール」をクリックします。

「はい」ボタンを押してください。

プログラムと機能	
PriPathTool をアンインストールしますか?	
□ 今後、このダイアログ ボックスを表示しない	はい(Y) いいえ(N)

③ アンインストールの完了

下記の画面が表示され、アンインストール完了後に、表示が自動的に消えます。

PriPath	Tool
18	Windows Iこ PriPathTool を設定しています。しばらくお待ちください。
	キャンセル

# 第2章 基本的な使い方

PriPathToolを使いこなすために、第2章では基本的な使い方を説明します。

#### ご使用になる前に

●装置 PRI Terminal Simulator の本体設定を行ってください。

工場出荷時は次のように設定されています。

IP ADDR : 192.168.0.1 NETMASK : 255.255.255.0 GATEWAY : 0.0.0.0 PASSWD : koga

装置 PRI Terminal Simulatorを工場出荷時のネットワーク設定に初期化する場合は以下のように行います。

① 装置背面の INIT スイッチを押下しながら電源「POWER」を ON にします。

- ② 装置前面 LED が橙点滅していることを確認します。
- ③ 押下していた INIT スイッチを離してください。初期化が完了します。 初期化を行うと、すぐに工場出荷時のネットワーク設定となります。

PriPathToolを起動します。起動画面の左側上部の IP アドレスが対象の装置の IP アドレスとー 致することを確認してください。

次に、「接続」ボタンを押してください。

●「PriPathTool」をファイアウォールの例外アプリケーションへ追加してください。

- (1) Windows「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「Windows ファイアウ ォールによるアプリケーションの許可」→「設定の変更」ボタンを押します。
- (2)「別のアプリの許可」ボタンを押し、表示されたウインドウから「参照」ボタンより、インスト ールした PriPathTool のディレクトリより PriPathTool.exe を設定し、「追加」ボタンを押しま す。
- (3)「PriPathTool」または「PriPathTool.exe(※)」表示の左横にチェック☑を入れ許可にしてく ださい。(プライベートまたはパブリックの選択はお客様の環境でご判断ください)
   ※「PriPathToolのインストール」にてインストール先フォルダを ご自身のユーザーフォルダ内に指定した場合に表示される場合があります。

■ Jントロール ハネル¥システムとセキュリテイ¥Wind	dows Detender ファイア ー LI X
← → ▼ ↑ 會 ≪ Win > 許可され.	م        ب
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T)	
アプリに Windows Defender ファイア	ウォール経由の通信を許可する
許可されたアプリおよびポートを追加、変更、または	削除するには、[設定の変更] <u>をクリックします。</u>
アプリに通信を許可する危険性の詳細	1 😯 設定の変更(N)
許可されたアプリおよび機能(A):	
名前	
) 🖓 riPathTool	⑥ ( □
I Jway	
	詳細(L) 削除(M)
	(2) 別のアプリの許可(R)
	OK キャンセル
アプリの追加	×
追加するアフリを選択するか、または一覧表 して検索して、[OK]をクリックしてください。	示されていないものについては [参照] をクリック
71/m.	
PriPathTool	
	3
パス(A): C:¥Program Files (x86)¥kd	oga¥PriPathTool¥PriPath 参照(B)
<u>アプリのブロックを解除するリスク</u> このアプリを追加するネットワークの種類を選掛	
ア <u>ブリのブロックを解除するリスク</u> このアプリを追加するネットワークの種類を選択 ネットワークの種類(N)	尺できます。

① プログラムの起動

Windows の「スタート」メニューから「プログラム」→「koga」→「PriPathTool」の順に選択します。

#### 次のような起動画面が表示されます。

(JL	オプション													
Termi	nal Simul	ator IPアドレス	192 . 168 . 0	.1 接続	Ē		泉状態 L	1 🔳 L2	-					
通試験	設定・ロ	ガ												
		-												
発番	号		同時	1 🜲 呼	呼出時間(発)	30 🌲 秒	疎通判定	100 🌲 %	ーチャネル選	訳		1 H	実行	
着番	号		発信間隔	100 🜲 約秒	呼出時間(著)	1 🝦 秒	● 単発		<ul> <li>若番</li> </ul>	優先	○ 指定		關	
			纪语国相	20 1 50	=十百金 0 本 日日	a 1 ▲ sk			0 500	パロピン	1	11	/13-+	
			1架7区101共1	00 ¥ 12	日刊的天中村日								1禾仔	
СН	着CH	発番号	若番号	発信	発OK	発NG	着信	着OK	着NG	疎通OK	疎通NG			
1	任意			0	0	0	0	0	0		0	0		
2	任意			0	0	0	0	0	0		0	0		
3	仕意			U	0	0	U	0	U		0	0		
4	仕息			U	0	0	0	0	0		0	0		
0	「日息」			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
7	任音			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
. 8	任章			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
9	任意			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
10	任意			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
11	任意			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
12	任意			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
13	任意			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
14	任意			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
15	任意			0	0	0	0	0	0	1	0	0		
16	任意			0	0	0	0	0	0	l	0	0		
17	任意			0	0	0	0	0	0		0	0		
18	仕意			0	0	0	0	0	0		0	0		
19	仕意			0	0	0	0	0	0		0	0		
20	仕息			0	0	0	0	0	0		0	0		
21	「日息」			0	0	0	0	0	0	1	0		クリア	
22	任意			0	0	0	0	0	0	1	0	0	保存	
20	11.25	I								'	×	-	100.13	

② プログラムの終了

画面右上の×ボタンを押してください。

# 操作画面の見方と各部の働き

			י—ב=ע(	<b>х</b> —	p.9		②接約	売 p.1	0	3回線	状愈	ţр.
	/	/										
PRI疎通	試験ツール										-	
イル フ	tプション							<b>*</b>				
[Termin	al Simulator IPア	<b>ドレス</b> [19	2 168 0 1	接続	<b>┐丫(</b>	回線状態	ន្ត L1 🔳	L2 🔳				
→面目式服金	EA:											
	SRE'US											
発番 <sup>4</sup>			同時 1 🜲	呼 [	呼出時間(発) [80	) 🔹 秒 🛛 🕯	棟通判定 100	\$ %	チャネル選択			実行
着番号	5	$\searrow$	発信間隔 100 🔶	刘秒 [	呼出時間(著) 1	◆秒 (	〕単発		◎ 若番優先	○ 指定		厭
			₩返周期 30 🜩	秒	試験時間 1	●秒 (	〕連続		○ ラウンドロビン	1		保存
		r				NC ±/		V Ŧ	ENIO (75)-54		_	
しタブ	ï		らタブ		жок ж П	ਸ਼ਾਹ ਸਤਾ। ਮ	s 784 N	/K 76			0	
					0	0	0	0	0	0	0	
ŧ通i	式験		設定・ログ		0	0	0	0	0	0	0	
	n 11		n	13	0	0	0	0	0	0	0	
	p.11		۲	.15	0	0	0	0	0	0	0	
6	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	
7	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	
8	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	
9	仕恵			U	U	U	U	U	U	U	0	
11	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	
19	「「「思」」			0	0	0	0	0	0	0	0	
12	任音			0	0	0	0	0	0	0	0	
14	任音			0	0	0	0	0	0	0	0	
15	任食			0	0	0	0	0	0	0	0	
16	任章			0	0	0	0	0	0	0	0	
17	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	
18	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	
19	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	
20	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	
21	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	507
22	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	2017
23	任意			0	0	0	0	0	0	0	0	保存

- ① メニューバー
  - [ ファイル ]

終了:プログラムを終了します。

[オプション]



# 本体更新 : ファームウェアの更新を行います。 更新するファームウェア(.mot)ファイルを選択してください。

ファイル オプション

終了 "BL Terminal Sumu 2 接続

PRI Terminal Simulator IPアドレス	192	168 0	1	接続
The remination and a VENA	192 .		' I.I.' I.	130076

装置の IP アドレスを入力してください。 工場出荷時 : 192.168.0.1 その後、「接続」を押してください。 パスワードの入力を行ってください。 工場出荷時 : koga

認証		
パスワード	決定	キャンセル

パスワード入力後、「決定」を押してください。

IP アドレスとパスワードが正しい場合、「接続」が「切断」に変わり、IP アドレス入力欄が グレーアウトの状態になります。

IP アドレス不適切な場合は、「接続に失敗しました」が表示されます。



パスワードが不一致の場合、「パスワードが正しくありません」が表示されます。



③回線状態

回線の状態を表示します。

L1	:	橙点灯	=	レイヤ	1	起動
L2	:	橙点灯	=	レイヤ	2	起動



### ④ タブ:疎通試験

疎通試験の設定・結果を表示します。

発番号 着番号	同時     1     呼出時間(発)     30     秒     疎通判定     100     %       発信間隔     100     シリ秒     呼出時間(着)     1     シ     ●     単発     ●     若番優先     ○     指定       繰返周期     30     シ     秒     試験時間     1     シ     や     ○     通流     1
発番号 着番号 同時	: 発番号を設定します。 : 着番号を設定します。 : 同時に発呼する呼の数を設定します。(1~23 呼)
発信間隔 繰返周期 呼出時間(発) 呼出時間(着)	: 同時発信時の発信間隔をミリ秒で設定します。(10~999 ミリ秒) :「連続」発呼時の、繰り返し周期を設定します。(1~999 秒) : 発信時の呼出時間を設定します。(1~999 秒) : 着信時の呼出時間を設定します。(1~999 秒) ※呼出時間(着)は発信側の呼出時間(発)よりも長く設定してください。
試験時間 疎通判定 単発 / 連続 チャネル選択	<ul> <li>: 通信確立後の試験データ送信時間(通話時間)を設定します。(1~999秒)</li> <li>: 試験データ合否の閾値を設定します。(1~100%)</li> <li>: 単発試験、連続試験を選択します。</li> <li>: 発信時に使用するチャネル番号を選択できます。</li> <li>: 若番優先 = 若番側で空状態のチャネルから使用します。</li> <li>うウンドロビン = ラウンドロビンでチャネルを使用します。</li> <li>指定 = 指定したチャネルから使用します。</li> </ul>

- 開く : 保存した試験ファイルを開きます。
- 保存 :試験ファイルを保存します。

実行	
猒	
保存	

CH	着CH	発番号	着番号	発信	発OK	発NG	着信	着OK	着NG	疎通OK	疎通NG
1	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
2	2			0	0	0	0	0	0	0	0
3	10			0	0	0	0	0	0	0	0
4	任意 ~			0	0	0	0	0	0	0	0
5	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
6	$\frac{1}{2}$			0	0	0	0	0	0	0	0
7	3			0	0	0	0	0	0	0	0
8	4 5			0	0	0	0	0	0	0	0
9	6			0	0	0	0	0	0	0	0
10	8			0	0	0	0	0	0	0	0
11	9 10			0	0	0	0	0	0	0	0
12	11 I			0	0	0	0	0	0	0	0
13	12			0	0	0	0	0	0	0	0
14	14			0	0	0	0	0	0	0	0
15	16			0	0	0	0	0	0	0	0
16	17 18			0	0	0	0	0	0	0	0
17	19			0	0	0	0	0	0	0	0
18	20 21			0	0	0	0	0	0	0	0
19	22			0	0	0	0	0	0	0	0
20	20			0	0	0	0	0	0	0	0
21	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
22	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
23	任意			0	0	0	0	0	0	0	0

CH : チャネル番号を示します。

着 CH : 任意 / 1 / … / 23 から選択でき、任意以外の値を設定した場合、設定した チャネルからの着信を期待します。設定したチャネル以外からの着信は、 NG データを受信した場合と等価となります。

- 発番号 : 発番号が表示されます。
- 着番号 : 着番号が表示されます。
- 発信 : 各 CH の発信回数が表示されます。
- 発信 OK : 呼が成立した発信回数が表示されます。
- 発信 NG : 呼が成立しなかった発信回数が表示されます。
- 着信 : 各 CH の着信回数が表示されます。
- 着信 OK : 呼が成立した着信回数が表示されます。
- 着信 NG : 呼が成立しなかった着信回数が表示されます。
- 疎通 OK : 疎通判定の閾値を満たす試験結果の回数が表示されます。
- 疎通 NG : 疎通判定の閾値を満たさない試験結果の回数が表示されます。
- クリア : 表示されている試験結果をクリアします。

保存	:	表示されている試験結果を csv ファイルに保存します。	0

クリア	
保存	

#### ⑤ タブ:設定・ログ

各種設定や簡易ログが確認できます。

バージョン 0.4.1.0 [2020/02/26] 内蔵時計 2020/03/01 00:00:54 時刻同期	本体情報			
内蔵時計 2020/03/01 00:00:54 時刻同期	バージョン	0.4.1.0 [2020/02/26]		
	内蔵時計	2020/03/01 00:00:54	時刻同期	

バージョン:ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

内蔵時計: 内蔵時計が表示されます。「時刻同期」でパソコンの時刻と同期します。

本体設定		
ネットワーク		NTP時刻補正
ローカルIPアドレス	192.168.0.1	1 00 : 00
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	2 00 : 00
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	3 00 : 00
NTPサーバIPアドレス	0.0.0.0	4 00 : 00
疎通試験		
終了待ち時間	100 ミリ秒	
771ル		
		開く 保存
	<u>クリア</u> 〕	送信 受信

・ネットワーク

ローカル IP アドレス	:装置の IP アドレスを表示/設定します。
サブネットマスク	:装置のサブネットマスクを表示/設定します。
デフォルトゲートウェイ	: 装置のデフォルトゲートウェイを表示/設定します。
NTP サーバ IP アドレス	: NTP サーバの IP アドレスを表示/設定します。

#### ·疎通試験

終了待ち時間

: 発信時の試験終了待ち時間を表示/設定します。 回線の遅延に合わせた設定をしてください。 ・ファイル

- 開く:本体設定の設定ファイルを開きます。
- 保存 :本体設定の設定ファイルを保存します。
- クリア:本体設定に工場出荷時の値を表示します。
- 送信:本体設定に表示されている値を装置に送信します。
- 受信: 装置から本体設定を受信し、表示します。

ט <i>י</i> ים	
時刻	内容
2020/03/01 00:00:02	アプリケーション起動
2020/03/01 00:00:43	CH.01 発信 着番号:0698765401 発番号:0312345601
2020/03/01 00:00:43	CH.19 着信 発番号:0312345601
2020/03/01 00:00:44	CH.19 接続
2020/03/01 00:00:44	CH.01 接続
2020/03/01 00:00:45	CH.01 疎通試験開始
2020/03/01 00:00:46	CH.01 疎通試験終了
2020/03/01 00:00:47	CH.01 切断 CV#16
2020/03/01 00:00:47	CH.19 切断 CV#16
2020/03/01 00:00:47	CH.01 試験結果(発) 10 / 10
2020/03/01 00:00:47	CH.19 試験結果(着) 10 / 10

・ログ

時刻:イベントの時刻を表示します。

内容 : イベントの内容を表示します。簡易的な呼の解析ができます。 ※詳細な呼の解析が必要な場合は、ispm2 をご使用ください。

# 第3章 保存ファイル

#### PriPathTool で使用するファイル

試験ファイル
 拡張子 = .tst
 デフォルトファイル名 = test\_YYYYMMDDhhmmss
 デフォルト保存先 = ¥ユーザー¥Documents¥koga¥PriPathTool

・結果ファイル

拡張子 = .csv デフォルトファイル名 = info\_YYYYMMDDhhmmss デフォルト保存先 = ¥ユーザー¥Documents¥koga¥PriPathTool

・設定ファイル

拡張子 = .cnf デフォルトファイル名 = config\_YYYYMMDDhhmmss デフォルト保存先 = ¥ユーザー¥Documents¥koga¥PriPathTool

・簡易ログファイル

拡張子 = .txt デフォルトファイル名 = log\_YYYYMMDDhhmmss ※アプリケーション起動時間のタイムスタンプ使用 デフォルト保存先 = ¥ユーザー¥Documents¥koga¥PriPathTool ※生成/自動保存

甲賀電子株式会社 〒 520-3047 滋賀県栗東市手原 5 丁目 8-10 TEL : 077-552-5123 FAX : 077-552-5121 e-mail : support@koga.co.jp URL : http://www.koga.co.jp